

## Scrambling and Control

高野 雄二

金城学院大学

日本語のスクランブリングがどのようなタイプの移動であるか、そしてその特性をどのように説明するか、ということは、統語理論にとって重要な問題であり、これまで多くの提案がなされてきた。これに対し、日本語のコントロール構文がどのように派生されるかについては、スクランブリングの問題ほど多くの研究はなされていない。本発表では、これらの問題について新たな視点から考える。具体的には、コントロール補文からのスクランブリングが束縛を可能にするかどうかを詳しく観察することにより、これまで発見されていない興味深い事実が存在することを指摘し、これらの事実を検討すると以下の結論が得られることを示す。(1)スクランブリングは典型的な A'移動（演算子移動）とも A 移動とも異なる。(2)コントロール補文からのスクランブリングでは「音索性」のみが移動する。(3)スクランブリングは「一致」を伴わずに起こる。(4)コントロール構文はコントローラーの移動により派生される。この議論を通じて、移動と束縛のメカニズム、および関連する問題について考える。